

情報提供・国内連携に向けた「情報センター」を中心とする活動の具体的内容をご紹介します。情報提供は、印刷メディアとインターネットを両輪に「国際交流基金図書館」を含めたさまざまな接点を通して行なわれています。また、「国際交流基金賞」をはじめとする顕彰事業やJFサポーターズクラブ、ジャパンファウンデーションボランティア制度などを通し、私たちの活動に協力いただける人々との連携を確かなものにしていきます。

情報センターをあたらしく設置しました。

国際交流の担い手はますます多様化し、拡大しつつあります。ジャパンファウンデーションではこうした時代変化に対応して、2004年5月の機構改革にあわせて情報センターを新設しました。情報センターでは国際交流の魅力やおもしろさを多くの方々へ伝えるため

の「事業情報の発信」と、国際交流の担い手の方々が必要とする情報の提供およびコンサルティングを行なう「国際交流情報の提供」という2つの柱を軸にして、事業を進めております。

情報センターでは、広くみなさまからのご

質問・ご相談を受け付けております。ジャパンファウンデーションの事業、ジャパンファウンデーションの公募プログラム、その他国際交流に関するお問い合わせは、情報センターまでお願いいたします。

お問い合わせ：ジャパンファウンデーション 情報センター（平日10：00～17：00）
Tel: 03-5562-3538 Fax:03-5562-3534

『国際交流』が『^{をちこち}遠近』としてリニューアル

『遠近』誕生にける想い。

これまで30年にわたり季刊『国際交流』を発行してきましたが、2004年10月より隔月刊『遠近』（をちこち、wochi kochi）としてリニューアル発行しました。

名称は、日本語・日本文化を海外に知らしめ、さらに諸外国との相互理解を深めたい、また、「国家と国家」だけでなく「人と人」を結ぶ文化の掛け橋としての役割を果たしたいという想いを込め、場所と時を示す指示代名詞で、「あちらこちら・ここかしこ」「未来と現在」を意味するやまと言葉に由来しています。「国際交流がつなぐ彼方と此方」を実現したい...、それが編集部願いです。

編集内容としては、主に次の3点が挙げられます。

- (1) 日本文化の魅力を「国際財」として対外的に発信できる支持基盤を世論のなかでかたちづけるよう、時宜に応じた特集を組む
- (2) ジャパンファウンデーションの活動内容を、読者にとって有益で興味深い読み物として提供する
- (3) 時代の流れを把握しながら、ジャパンファウンデーションならではの独自の視点から情報を提供していく

このように、『遠近』は日本で唯一の国際交流専門誌として内容をさらに充実させていきます。文化交流に携わるすべての人々の必読書として、ぜひご愛読いただきたいと思っております。

2004年度に発行した『遠近』

No.1 特集：文化の力 交流の営み

本誌リニューアル第1号では、真正面から「文化」と「交流」について考える特集を組みました。急速な変化を続ける国際社会の中での日本文化のあり方、またそうした位置付けの中での日本の国際文化交流を専門に行なうジャパンファウンデーションの役割について、さまざまな側面から考えました。

No.2 特集：アジアはいま わたしたちどこかで会いしましたか？

ジャパンファウンデーションの文化人招へいプログラムで韓国から来日した趙英男さんとの対談や、アジアの現在美術を紹介する展覧会「Have We Met?」展のキュレーターを囲んだ座談会を通して、日本ではなかなか紹介されにくい現在アジアの姿をお伝えしました。

No.3 特集：変わる日本 世界に開くコミュニティ

国際結婚や留学生が増加し、経済活動のグローバル化や地域社会の国際化が進んでいる現状を踏まえ、多文化共生や地域活性化に資する国際交流のさまざまな取り組みを紹介しました。



その他の刊行物

データベースやメールマガジンを活用した英語版ニュースレター。

ジャパンファウンデーションWebサイトにニュースレターのデータベース(英語版)を構築し、日本の最新文化・社会事情などのデータを英文で蓄積していくほか、個人の方むけにはメールマガジン(英語版)を活用することにより、情報のスピードアップ化もはかっています。ぜひご一読ください。

海外の日本語教育をサポートする日本語教育通信。

海外の日本語教師および学習者を対象として、教材情報、授業のアイデア、日本事情や内外日本語教育情報等を提供します。

ホームページでは全ページご覧いただけます(日本語、http://www.jpj.go.jp/j/japan_j/publish/tsushin/index.html)



日本語教育通信

ホームページ・メールマガジンによる情報発信

ホームページ・メールマガジンで最新情報をいち早く発信。

ホームページ(<http://www.jpj.go.jp/>)を通じて、ジャパンファウンデーションの最新情報を発信しています。更新情報は、毎週発行しているメールマガジン(日・英)を通じて、いち早く皆様にお届けしております。ジャパンファウンデーション事業にご関心のある方は、ぜひご登録ください。



公募プログラムガイドラインに関する情報もホームページを通じて提供しています(http://www.jpj.go.jp/j/about_j/program_j/index.html)

また、ホームページからは事業を通じて蓄積された様々なデータベースや関連サイトへもアクセスできます。

Performing Arts Network Japan

(日・英、<http://performingarts.jp/>)

稀に見る多様性をもつ、刺激的な日本の現代舞台芸術情報を海外に発信することを目的に創刊された、毎月更新のWebサイトです。また世界の舞台芸術シーンの動向にも注目し、フェスティバルや見本市の情報を発信するとともに、インターナショナルプレゼンターの紹介を行ない、国際交流の活性化を図ります。

Japanese Studies Network Forum

(英語、<http://www.jsnet.org/>)

海外における日本研究者同士のネットワークを支援するWebサイトです。



国際交流基金図書館

どなたでもご利用いただける専門図書館を運営しています。

国際交流基金図書館は、外国語で書かれた日本関係の図書資料および現代アジアの文化・社会を紹介する資料を所蔵する専門図書館です。国際交流に関する情報窓口として、関連する情報を収集・提供しており、どなたでもご利用いただけます。

新たに「高円宮記念文庫」を開設しました。

47歳の若さで突然ご逝去された高円宮恵仁殿下は、長くジャパンファウンデーションに勤務され、文化芸術・スポーツなど多岐にわたる分野で自ら国際交流の現場に携わられてきました。

殿下の蔵書の一部を妃殿下からご寄贈いただき、文化・芸術関係を中心とした約500冊のコレクションを2004年10月から公開しています。



高円宮記念文庫目録授与式にご出席された高円宮妃久子殿下 (©高木厚子)